

令和 6 年度 生涯学習事業計画書

春日井市・春日井市教育委員会

目 次

I	生涯学習行政	1
II	令和6年度生涯学習関連予算	2
III	いきがい推進課（旧文化・生涯学習課）	3
IV	公民館・ふれあいセンター等	6
V	青年の家	8
VI	文化スポーツ振興課（旧スポーツ課）	9
VII	道風記念館	13
VIII	図書館	15
IX	文化財課	18
X	野外教育センター	20

I 生涯学習行政

1 生涯学習関係行政組織

※網掛け部分が生涯学習事業関係部局

(令和6年4月1日から)

【市長部局】

部	課	担当
いきがい創生部	いきがい推進課	生涯学習
		高齢者活躍推進
		南部ふれあいセンター
		西部ふれあいセンター
		中央公民館
		知多公民館
		鷹来公民館
		坂下公民館
		青年の家
	味美ふれあいセンター	
	高蔵寺ふれあいセンター	
	東部市民センター	
	市民活動支援センター	
	文化スポーツ振興課	文化振興
		スポーツ振興
		道風記念館
図書館	資料	
	サービス・啓発	

【教育委員会】

教育委員会事務局	教育総務課	庶務
		営繕
		小学校（38校）、中学校（16校）
	学校教育課	指導
		学事
		教育研究所
	学校給食課	管理
		栄養
	文化財課	文化財
		民俗考古
	野外教育センター	少年自然の家
		都市緑化植物園

II 令和6年度生涯学習関連予算

1 令和6年度一般会計予算

(単位：千円、%)

項目	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	対前年度		総額に 占める 割合
			増減額	増減比	
一般会計総額	122,770,000	116,450,000	6,320,000	5.4	100.0
教育費	13,048,231	11,537,428	1,510,803	13.1	10.6
社会教育費	3,545,822	2,682,082	863,740	32.2	2.9

2 令和6年度生涯学習事業予算

※社会教育費から給料及び職員手当等を除き、総務費のふれあいセンター、グリーンパレス春日井事業を含めた額

(単位：千円、%)

項目	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	対前年度		合計に 占める 割合
			増減額	増減比	
社会教育事業	19,128	22,118	△ 2,990	△ 13.5	0.6
公民館事業	641,890	91,350	550,540	602.7	19.1
ふれあいセンター事業	338,879	226,933	111,946	49.3	10.1
グリーンパレス春日井事業	112,650	109,403	3,247	3.0	3.3
青年の家事業	22,965	21,050	1,915	9.1	0.7
社会体育事業	1,922,440	1,533,315	389,125	25.4	57.1
文化財事業	24,096	27,371	△ 3,275	△ 12.0	0.7
道風記念館事業	19,996	58,437	△ 38,441	△ 65.8	0.6
図書館事業	79,672	78,844	828	1.1	2.4
野外教育センター事業	186,316	279,624	△ 93,308	△ 33.4	5.5
合計	3,368,032	2,448,445	919,587	37.6	100.0

※上記の予算額は、次の各事業、施設管理に対応する各所属が所管する事業実施等に関する額。「社会教育事業」：いきがい推進課、「公民館事業」：各公民館、「ふれあいセンター事業」：各ふれあいセンター及び東部市民センター、「グリーンパレス春日井事業」：グリーンパレス春日井、「青年の家事業」：青年の家、「社会体育事業」：文化スポーツ振興課、「文化財事業」：文化財課、「道風記念館事業」：道風記念館、「図書館事業」：図書館、「野外教育センター事業」：少年自然の家、都市緑化植物園及び細野キャンプ場。

Ⅲ いきがい推進課（旧文化・生涯学習課）

【推進目標】

- 第2次春日井市生涯学習推進計画改定版(令和5年3月)に基づき、生涯学習施策を総合的かつ計画的に推進する。
- 市民が生涯学習活動を通じて「いきがい」を感じられるよう、各世代のニーズに応じた学習環境を整備し、より充実した学習内容、機会を提供する。
- 市ホームページや市公式LINE、生涯学習情報サイトなど様々な媒体を活用し、生涯学習に関する情報を発信する。

1 社会教育委員

〔予算額 219千円（対前年度比増減なし）〕

社会教育、生涯学習全般について、指導・助言を行う。

《委員構成》

学校教育関係者	2名	
社会教育関係者	7名	
学識経験者等	6名	計15名

2 生涯学習指導員

〔予算額 10,263千円 ※人件費（対前年度比8.5%増）〕

生涯学習活動への指導・助言や協力を行うとともに、市民からの生涯学習に係る相談を受ける。いきがい推進課内2名、松原学習センター内3名の計5名。

3 かすがいいきいきアカデミー（旧かすがい熟年大学）

〔予算額 1,690千円（対前年度比9.7%減）〕

誰もが生涯いきいきと活躍し、学ぶ意欲を持ち続けることができるよう、「かすがい熟年大学」を改編し、18歳以上の人を対象とした年間を通じて学ぶことができる講座を開催する。

《実施概要》

対象：18歳以上の人

会場定員：生活科学コース 150人 歴史コース 180人

文学コース 150人 芸術文化コース 150人

講座回数：各コース年間15回（開講式・全体講座、閉講式・いきがい合同講座を含む）

その他：いきがいつくりや仲間づくり、地域活動、ボランティア活動につなげるため、“さらなる学び”や“学んだことを活かす”をテーマに、市で開催している安全アカデミーや市民環境アカデミーと連携して「いきがい合同講座」を開催する。

4 二十歳の成人式

[予算額 5,802千円 (対前年度比8.5%増)]

将来を担う二十歳の市民を対象に式典等を開催する。

《開催概要》

令和7年春日井市二十歳の成人式

開催日：1月13日（月・祝）

会場：総合体育館

対象：平成16年4月2日～平成17年4月1日の出生者

5 ふれあい教育セミナー

[予算額 3,500千円 (対前年度比21.7%減)]

学校等に通う子どもの保護者等が家庭教育の意義と役割を学び、社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育む「ふれあい教育セミナー」を補助することにより、家庭教育力及び地域教育力の向上を図る。

6 生涯学習情報発信事業

[予算額 918千円 (対前年度比78.0%減)]

(1) 生涯学習情報サイト

意欲・技能のある市民等を講師として登録し情報提供するほか、各施設で活動する団体の情報を、インターネットを通じて提供する。

(2) 講座情報発信

市内施設で相互に協力し、チラシの設置やポスター掲示など実施講座のPRを行う。

7 講師発掘・登用事業

[予算額 128千円 (対前年比増減なし)]

市民が学習で得た知識や技術を広く生かし、「学ぶ」だけでなく、「教える」楽しみやいきがいを感じることができる場として、さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座を開催する。

8 大学連携講座

[予算額 617千円 (対前年度比0.5%減)]

大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施することにより、市民の多様化する学習ニーズに応える。また、開催方法として、会場に来られない人や時間に制限がある人向けに、いつでも自宅等で受講できる「YouTube配信講座」、場所を選ばずオンタイムで受講できる「ZOOM配

信講座」、対面講座をオンラインでつなぐハイブリッド講座を実施する。

9 学校施設開放

〔予算額 なし〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。

10 松原学習センター管理

〔予算額 650千円（対前年度比11.3%減）〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、小学校の余裕教室を利用した施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。

11 施設予約システム

〔予算額 4,357千円（対前年度比4.9%増）〕

愛知県内の市町が共同で利用する公共施設の予約システムで、公共施設の空き状況の検索や利用予約など、インターネットを通じて行うことができるもの。

《実施概要》

設置施設：公民館、ふれあいセンター、総合体育館など25施設

12 出前講座

〔予算額 323千円（対前年度比59.1%増）〕

身近な場所での学習機会の充実を図るため、地域の公民館や集会施設に市職員や生涯学習情報サイトに登録のある講師を派遣し、生涯学習講座を開催する。

13 学習室開放（スタディルーム）

〔予算額 なし〕

公民館・ふれあいセンター等の施設の空き集会室等を有効活用し、学習室として無料で開放することで、中高生の自主学習を支援する。

《実施概要》

実 施 施 設：中央公民館、知多公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、青少年女性センター
※鷹来公民館は大規模改修工事に伴い休止

利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日午前9時から午後5時まで

(施設の休館日及び開放できる部屋がない日を除く。)

利用できる者：市内在住、在学の中学生、高校生（小学生も利用可能）

14 障がい者の生涯学習支援事業

〔予算額 619千円（対前年度比皆増）〕

障がいの有無にかかわらず、学びたいときに学ぶことができ、いきがいをもって豊かな人生を送ることができるよう、障がい者のための生涯学習講座を開催するなど多様な学習活動の充実を図る。

(1) 生涯学習講座：文化講座、スポーツ講座の実施

(2) エンジョイ+（プラス）

障がいのある方が自由に集まることができる場所。毎月1回開催

15 一般管理、負担金、補助及び交付金

〔予算額 305千円（対前年度比48.1%増）〕

生涯学習施策の推進に係る研修等の受講、愛知県公民館連合会を始めとした各関係団体への参加、情報交換等を行う。

また、社会教育主事資格取得のため、講習会に参加する。

IV 公民館・ふれあいセンター等

【推進目標】

- 市民交流や地域活力、さらには地域の絆につながるよう、学習や交流できる様々な機会や場を提供するとともに、気軽に利用しやすい環境づくりを進める。また、市民ニーズを的確に捉え、利用者目線のサービスを提供する。
- 学びにつながるきっかけとなる講座やライフステージに応じた学習機会、現代的・社会的課題や多様なニーズに対応した学習機会の充実を図る。また、高齢者向けのスマートフォン講座などデジタル格差を解消するためのICT活用講座を開催する。

1 公民館・ふれあいセンター等講座

〔予算額 12,242千円（対前年度比30.6%減）〕

(1) 市民講座

年間を2期（前期・後期）に分け、少子高齢化・情報化・国際化等による多様な学習要求に応えられる柔軟な学習プログラムを立案し、より多くの市民に学習の機会を提供する。また、通年型のアラカルト講座も開催する。

- (2) 短期講座
市民講座を補うものとして、季節・時期にあった短期の講座・教室などを開催する。また、オンラインによる講座も開催する。
- (3) 子どもの部屋
アニメ映画や紙芝居・人形劇等、子どもを対象に実施し、青少年の健全な育成を図る。
- (4) 展示
趣味などの収集品、講座受講生や活動団体の作品をロビー等に展示し、広く市民に紹介する。
- (5) 公民館まつり、芸能発表会
公民館等で活動するクラブ等の成果を発表し交流を図る。
- (6) ふれあいコンサート
地域住民の芸術鑑賞及び交流の機会とするため、クリスマスや七夕など季節の行事等に合わせ、ふれあいコンサートを実施する。
- (7) ニュータウンきずな事業（東部市民センター）
地域住民の「出会い」と「きずな」づくりの場とするため、各種イベントを開催し、地域交流や世代間交流の活発化を図る。

2 生涯学習活動団体の指導、育成

〔予算額 なし〕

市民が自主的に行う生涯学習活動を支援し、地域社会のコミュニケーションの場づくりに寄与するとともに、生涯学習の成果を活かしたまちづくりを推進するため、生涯学習活動を行う団体・クラブを指導、育成する。
また、生涯学習活動団体の認定要件の緩和や市民活動支援センターの印刷機等の備品を利用できるようにするなど団体の活動の活性化を図る。

3 各公民館・ふれあいセンター等小工事

〔予算額 686,733千円（対前年度比784.1%増）〕

施設の老朽化対策や快適な環境整備のため、鷹来公民館大規模改修工事のほか、エレベーター改修工事や非常用発電機更新工事などを実施する。

《主な工事等》

- (1) 鷹来公民館大規模改修工事
 - (2) 鷹来公民館大規模改修工事監理業務委託
 - (3) 西部ふれあいセンターエレベーター改修工事
 - (4) 西部ふれあいセンター非常用発電機更新工事
 - (5) 味美ふれあいセンター屋上防水改修工事 他
- ※(1)(2)は令和6・7年度継続事業

4 各公民館・ふれあいセンター等施設管理

〔予算額 281,794千円（対前年度比26.4%増）〕

各公民館等において、施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

5 グリーンパレス春日井施設管理

〔予算額 112,650千円（対前年度比7.4%増）〕

施設の管理運営を公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団に委託し、施設の貸館、各種講座を実施する。

また、施設を安全・快適に利用できるよう、設備の修繕等を実施する。

V 青年の家

【推進目標】

○施設の特色を生かした音楽に親しめる場として学習環境を整備し、主に音楽を中心とした講座を実施する。

1 青年の家講座

〔予算額 633千円（対前年度比19.0%減）〕

社会生活に必要な教養を高め、施設の特徴を活かした講座や自主コンサートを開催し、青少年の健全育成と音楽の振興を図る。

2 青年の家小工事

〔予算額 1,800千円（対前年度比795.5%増）〕

施設利用者の利便性の向上と施設の快適な環境整備のため、非常用発電機更新工事实施設設計などを実施する。

《主な工事等》

- (1) 青年の家非常用発電機更新工事实施設設計業務委託
- (2) 青年の家エレベーター改修工事实施設設計業務委託

3 青年の家施設管理

〔予算額 20,532千円（対前年度比2.3%減）〕

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

Ⅵ 文化スポーツ振興課（旧スポーツ課）

【推進目標】

○春日井市スポーツ振興基本方針に掲げる3つの方針を目標とし、地域における生涯スポーツの取り組みを支援し、競技スポーツの振興やレクリエーションスポーツの普及を積極的に進める。

○生涯スポーツの推進

1 新春春日井マラソン大会

〔予算額 11,500千円（対前年度増減なし）〕

市民が楽しみながら体力づくりと健康増進を図り、家族や参加者相互の交流を深めることを目的に、新春を飾るスポーツの祭典として開催する。

《開催概要》

開催日 1月12日（日）

場 所 総合体育館及周辺道路

2 市民体育大会

〔予算額 3,209千円（対前年度増減なし）〕

市民に広くスポーツに接する機会を提供し、健康の増進・体力の向上を目指しながらスポーツ人口の拡大を図るため、各種目の大会を春日井市スポーツ協会に委託し開催する。

《開催概要》

開催期間 4月1日（月）～3月31日（月）

場 所 総合体育館始めスポーツ施設等

種 目 軟式野球、剣道を始めとする38種目

3 レクスポ普及・振興事業

〔予算額 1,439千円（対前年度増減なし）〕

(1) レクリエーションスポーツ祭

生涯スポーツの普及振興として、様々なレクリエーションスポーツに触れる機会を提供することで、家族や地域の人達が集い、体力の向上と地域社会の親睦を図る。だれでも参加することができるウォーキングイベントを合わせ、「2024！レクスポ&ウォーク祭」として開催予定。

《開催概要》

開催日 6月9日（日）

場 所 レクスポチャレンジ他：朝宮公園（スポーレ春日井）

ウォーキング：ふれあい緑道（朝宮公園～落合公園間）

4 スポーツ賞表彰・全国大会等支援

[予算額 1,057千円 (対前年度比9.1%増)]

- (1) 春日井市スポーツ賞表彰式
国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰する。

《開催概要》

開催日 3月20日 (木・祝)

場 所 文化フォーラム春日井

- (2) 全日本女子学生剣道優勝大会
全国の各地区代表の56大学が集結し、日本一を目指す。女子学生剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催日 11月10日 (日)

場 所 総合体育館

- (3) 全国高等学校剣道選抜大会
全国都道府県代表の男女各64校が集結し、日本一を目指す。高校剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催期間 3月26日 (水) ~28日 (金)

場 所 総合体育館

- (4) 後援に係る賞の交付

5 スポーツ表彰審査会

[予算額 30千円 (対前年度増減なし)]

国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰するための表彰を公正かつ適正に行うため、表彰の適否の審査を行う。

《委員構成》

教育委員会委員	1名	
社会教育委員	1名	
市内小中学校長の代表	1名	
市内高等学校長の代表	1名	
スポーツ協会の役員	2名	
スポーツ推進委員	1名	計7名

6 スポーツ応援事業

[予算額 6,850千円 (対前年度比0.6%増)]

市を広くPRするとともに参加者と市民の交流が図られる全国規模等のスポーツ大会の開催及び国際的又は全国的規模で開催されるスポーツ大会への市民の出場者に対し、市が文化スポーツ応援団となって支援を行う。

7 スポーツ協会補助

〔予算額 9,000千円（対前年度比10%減）〕

スポーツ協会の運営及び加盟団体40団体を育成し、各加盟団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図る。

また、学校区体育振興会18団体を育成し、地域スポーツの振興を図る。

8 スポーツ振興基金積立金

〔予算額 5千円（対前年度比66.7%増）〕

広く市民のスポーツの振興と健康の保持増進を図るため、基金を設置。

9 公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団運営費補助金

〔予算額 774,624千円（対前年度比5.9%増）〕

財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図る。

- (1) かすがい！スポーツフェスティバル
- (2) ボールゲームフェスタinかすがい
- (3) 朝宮公園フェスティバル
- (4) ラグビーフェスティバル
- (5) ラジオ体操会

他

〇コミュニティスポーツの推進

10 スポーツ推進委員

〔予算額 2,877千円（対前年度増減なし）〕

地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行い、地域スポーツの推進を図る。

《スポーツ推進委員》67名（令和6年4月1日現在）

11 学校区体育振興

〔予算額 110千円（対前年度比3.5%減）〕

- (1) 学校区体育振興会交流大会
各学校区体育振興会が集まり、親睦と交流を深める。

《開催概要》

開催日 11月17日（日）

場 所 総合体育館

○スポーツ施設の整備充実

12 学校体育施設開放

〔予算額 2,158千円（対前年度比0.6%増）〕

市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。

《事業概要》

(1) 小中学校体育施設開放

小中学校 体育館 52校

中学校 武道場 15校

(2) 県立学校体育施設開放

市内県立学校 校庭 8校

13 総合体育館等体育施設管理費

〔予算額 518,395千円（対前年度比8.4%減）〕

総合体育館を始め、温水プール、市民球場、落合公園体育館及び朝宮公園において、安全で安心してスポーツに親しむことができるよう施設管理を行う。

14 総合体育館等体育施設小工事

〔予算額 19,000千円（対前年度比54.3%減）〕

総合体育館等の工事を施工し、施設の整備充実を図るとともに、安全で安心してスポーツに親しむことができる施設整備を推進する。

《主な工事等》

(1) 温水プール改修方針検討業務委託

(2) 温水プール天井内フック取付工事

15 屋外体育施設管理費

〔予算額 46,073千円（対前年度比2.8%増）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の維持管理を行う。

16 屋外体育施設小工事

〔予算額 501,600千円（対前年度比439.6%増）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の整備を行う。

《主な工事》

- (1) 中央公園グラウンド夜間照明新設及び土壌改良等工事
- (2) 前高グラウンド土壌改良等工事
- (3) 牛山公園グラウンドトイレ建替工事 他

17 アジア競技大会関連事業

〔予算額 24,200千円（対前年度比59.4%増）〕

第20回アジア競技大会（2026年／愛知・名古屋）の開催にあたり、競技会場として予定されている総合体育館の改修工事、関連事業等を実施する。

《事業概要》

- (1) 総合体育館機能向上改修工事監理業務委託
- (2) 総合体育館機能向上改修工事
※令和6・7年度継続事業

○スポーツ振興管理

18 一般管理

〔予算額 263千円（対前年度比88.8%減）〕

スポーツの普及・振興の管理業務を行う。

VII 道風記念館

【推進目標】

- 「書のまち春日井」を全国に発信し、市内に一層浸透させるため、書作品の展示、講座などの事業の実施により、書に対する理解や鑑賞力を高める。
- 展示品解説や講演会を実施し、書を鑑賞し、深く味わう楽しみを伝える。

1 道風記念館運営協議会委員

〔予算額 132千円（対前年度比増減なし）〕

道風記念館の運営に関し、調査及び審議を行う。

《委員構成》

- | | | |
|-------------|----|-----|
| 書家 | 5名 | |
| 学識経験者 | 3名 | |
| 小野道風公遺跡保存会長 | 1名 | 計9名 |

2 道風記念館事業

[予算額 8,839千円 (対前年度比1.2%減)]

(1) 展示

① 館蔵品展

ア 常設展示

- 小野道風の業績などの解説パネル (通年)
- 道風を中心に平安時代の書の複製・木版本など (通年)

イ 館蔵品展

- 館蔵品の中からテーマを設定して展示 (年間3回開催)

② 企画展

ア 企画展「道風記念館所蔵 現代の書優品展」

主に昭和・平成を生きた著名書家の作品を展示する。

開催日 4月26日(金)～7月15日(月)

イ 企画展「おののとうふう」

子ども向けにわかりやすく小野道風を紹介する。

開催日 7月20日(土)～9月1日(日)

ウ 特別展「岡寺版集帖」(仮称)

日本で制作されたすぐれた集帖のうち、三重県の岡寺山継松寺に伝わる「岡寺版集帖」を紹介する。

開催日 9月6日(金)～10月14日(月)

(2) 道風記念館講座

書に関する内容の講座を開催する。

(3) 臨書作品展

第43回道風の書臨書作品展

対象作品	一般の部	小野道風筆玉泉帖 伝藤原行成筆粘葉本和漢朗詠集
	高校生の部	小野道風筆智証大師諡号勅書 伝小野道風小島切

応募締切 10月25日(金)

審査日 11月17日(日)

展覧会 1月18日(土)～2月2日(日)

表彰式 1月18日(土)

(4) 「道風記念館だより」の発行

小野道風に関する研究発表や小野道風に関する資料の紹介などを行う。

3 道風記念館施設管理

[予算額 11,005千円 (対前年度比69.9%減)]

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

VIII 図書館

【推進目標】

- 誰もが利用しやすい、何度でも足を運びたいくなるような図書館を目指す。
- 「第4次春日井市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に親しみ、生涯にわたり読書活動を継続していけるよう、読書に親しむきっかけづくりや読書環境の整備を推進、充実する。

1 図書館協議会委員

〔予算額 59千円（対前年度比49.6%減）〕

館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について意見を述べる。

《委員構成》

学校教育関係者	2名	
社会教育関係者	4名	
家庭教育関係者	2名	
学識経験者等	2名	計10名

2 図書購入

〔予算額 43,000千円（対前年度比増減なし）〕

(1) 図書

館室別	令和6年度購入
図書館	7,500冊
高蔵寺まなびと交流センター 図書館	4,500冊
他9図書室	4,000冊
計	16,000冊

(2) その他の資料

- ① 紙芝居 200巻
- ② 新聞（図書館26紙、高蔵寺まなびと交流センター図書館12紙）
- ③ 雑誌（図書館217誌、高蔵寺まなびと交流センター図書館110誌）
- ④ 官報、加除資料
- ⑤ 視聴覚資料

3 読書啓発

〔予算額 3,669千円（対前年度比8.7%増）〕

(1) 読書手帳の配付

小学生を対象に読書履歴や感想を記録できる読書手帳を配付し、読書習慣の醸成と図書館利用の促進を図る。

- (2) ブックスタート事業
4か月児健康診査時に、絵本を手渡すとともに絵本の読み聞かせ体験を実施することで、家庭での読み聞かせを啓発する。
- (3) 赤ちゃんのためのおはなし会
乳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせ等を行い、家庭における乳児期からの読書活動を啓発する。
- (4) すくすく読み聞かせ会
1歳6か月から就園前までの幼児とその保護者を対象に、絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行い、幼児期の読書活動を啓発する。
- (5) 紙芝居とお話を聞く会
幼児・児童とその保護者を対象に、絵本・紙芝居の読み聞かせや語り聞かせ等を行い、図書館利用と家庭での読書活動を促進する。
- (6) 読書週間事業
春の「こどもの読書週間」と秋の「読書週間」の期間に、おはなし会やクイズラリー等のイベントを実施し、子ども・市民に図書館をより身近に感じてもらうことで、図書館利用を促進する。
- (7) 小中学校読書感想文・感想画コンクール
作品の募集を通して、子どもたちが読書によって得た感動や気づきを文章や絵で表現し、読書力・表現力・創造力を培う機会を提供する。
- (8) 小中学生向け講座（子ども司書養成講座・10代の未来さがし講座）
小中学生が現役の司書から図書館業務を学ぶ講座や、中高生が大学教員から本が人生の助けになることを学ぶ講座を開催することで、図書館への関心を高め、読書活動の意義を見出すことを促す。
- (9) 図書館読み聞かせボランティア養成講座
持続的な読み聞かせ事業の実施のため、ボランティア希望者を募り、子どもへの読み聞かせに必要な知識や技術、心構え等を習得する講座を開催して、担い手を養成する。
- (10) 幼稚園・保育園特別団体貸出
絵本、児童書、紙芝居を詰めたコンテナボックスを市内の保育園・幼稚園等に定期的に搬送し、園児たちがより多くの本に出会う機会を提供する。
- (11) 企画展示
季節、流行、世相などをテーマとした展示コーナーを設置することで、来館者への情報発信を行い、本選びの幅を広げ、図書館利用を促進する。
- (12) サポート展示「さぼてん！」
市の事業をテーマとした展示コーナーを設置し、市政情報を発信するとともに、当該事業のPRとの相乗効果により、図書館利用を促進する。

(13) 本の福袋・ブラインドブック

テーマに合わせて選書した児童書2、3冊を袋詰めした本の福袋や、本の表紙が見えないように包み、本文から抜粋した1行を紹介したブラインドブックの形で本を展示し、偶然性のある本選びの場を提供することで、図書館利用を促進する。

4 障がい者図書サービス

[予算額 625千円 (対前年度比3.4%減)]

(1) 図書等の無料郵送貸出

心身の障がい等で来館が著しく困難な方や視覚障がい者の図書館利用を支援するため、図書及び録音・点字図書の無料郵送貸出をする。

(2) 対面読書

音訳ボランティアが図書館資料を対面で読み聞かせることで、視覚障がい者の読書を支援する。

(3) 録音図書、点字図書の製作

視覚障がい者のための録音図書及び点字図書を製作する。

(4) 音訳技術講習会

録音図書製作のボランティアを養成するための講習会を開催する。

(5) 音訳デジタル録音技術講習会

音訳ボランティアのデジタル録音技術向上のための講習会を開催する。

5 図書館管理

[予算額 32,319千円 (対前年度比1.9%増)]

(1) 図書館運営

① 図書館事業

図書資料の閲覧、貸出、巡回搬送、読書相談、読書啓発事業、障がい者図書サービス事業等、総合的な図書館事業を実施する。

② 各図書館・図書室との連携

高蔵寺まなびと交流センター図書館及び味美ふれあいセンター始め9図書室と、窓口業務における問題点・改善事例について情報を共有し、サービス向上を図る。

③ 図書館ホームページ

利用案内、図書検索、インターネット予約サービス、他の図書館とのリンク等のサービスを提供する。

(2) 図書館ボランティアとの協働

図書館ボランティアと連携しながら、返却図書の排架、書架整理、絵本の読み聞かせ、対面読書、デージー図書・点字図書の製作等を実施する。

(3) その他

図書館年報、図書館だより等の発行により、図書館の行事や読書に関する情報を提供し、図書館利用を促進する。

Ⅸ 文化財課

【推進目標】

○市内に残る史跡等の貴重な文化財や地域の伝統的な民俗文化を保護・保存し、次世代に継承する取り組みを推進するとともに、公開・活用をすることにより、市民が文化財に親しみ、文化財愛護意識を高めるようにする。

1 文化財保護審議会委員

〔予算額 117千円（対前年度比増減なし）〕

文化財の保存及び活用に関し、調査及び審議を行う。

《委員構成》

学識経験者 8名

2 内津文化財祭

〔予算額 883千円（対前年度比13.0%減）〕

内々神社が所蔵する文化財を公開し、文化財保護への理解を深め啓発を図る。

《開催概要》

開催日 5月11日（土）

場 所 内々神社

3 ハニワまつり

〔予算額 4,652千円（対前年度比10.4%減）〕

市民が制作したハニワの野焼きや体験工房等を開催し、二子山古墳の歴史的背景を広く市民に紹介する。また、野焼きしたハニワは、ふれあい緑道（ハニワ道）と二子山公園内のハニワの館に設置する。

《開催概要》

開催日 10月26日（土）

場 所 二子山公園

4 「郷土誌かすがい」発行

〔予算額 330千円（対前年度比7.1%増）〕

郷土史研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史や文化財に親しめるように発行する。(年1回発行)

5 民俗考古調査

[予算額 3,002千円 (対前年度比4.1%減)]

- (1) 発掘調査、出土遺物・調査資料の整理
区画整理事業等により失われる埋蔵文化財について発掘調査を実施し、出土遺物・調査記録を整理する。また、調査成果をまとめた出川遺跡発掘調査報告書を発行する。
- (2) 民俗聞き取り調査、資料の収集・整理・保存
年中行事等について聞き取り調査を実施し、調査記録を整理する。また、衣食住及び生業に関する民俗資料を中心に収集し、整理・保存する。

6 指定文化財・郷土芸能保存

[予算額 3,581千円 (対前年度比35.1%増)]

市内の指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存伝承活動等に対し、補助金を交付する。

7 埋蔵文化財調査

[予算額 4,462千円 (対前年度比2.2%減)]

- (1) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び「概要報告書」の発行
区画整理事業や各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るため、試掘・確認調査を行う。また、調査の概要をまとめ、報告書として発行する。
- (2) 国庫補助による埋蔵文化財資料の整理及び保存並びに活用
過去に実施した発掘調査資料を公開・活用できるよう再整理し、あわせて歴史講座や企画展示を行う。

8 文化財継承

[予算額 438千円 (対前年度比13.1%減)]

- (1) 文化財ボランティア育成
市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアの養成及び資質向上のため研修を開催する。
- (2) 郷土芸能出前講座
地域の郷土芸能保存団体を小学校に招き、郷土芸能を紹介・披露しても

らい、団体の指導により児童が練習や発表を行うことで、地域の民俗芸能の担い手を育成する。

(3) 民俗考古展示室 企画展・講座

地域の歴史・文化財に対する市民の関心を高めることを目的に、民俗考古展示室(体験・企画展示室)で企画展示やワークショップ等を開催する。

9 文化財管理

[予算額 4,644千円(対前年度比3.8%減)]

二子山古墳を始めとする市内の史跡等の文化財の適切な管理を行う。

10 文化財保護

[予算額 913千円(対前年度比69.1%減)]

貴重な史跡や文化財を保護し、次世代へ継承するため、文化財を火災等の災害から守る文化財防火訓練の開催や文化財の説明看板の修繕等を行う。

11 一般管理

[予算額 1,074千円(対前年度比12.2%減)]

事務的経費及び愛知県史跡整備市町村協議会分担金

X 野外教育センター

【推進目標】

- 東部丘陵の豊かな自然を活用し、市民に親しまれる空間を創出するため、少年自然の家と都市緑化植物園を会場に、「緑と花」をテーマに、それぞれの施設の特性を活かし、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるフェスティバルを開催し、両施設の一体利用の推進を図る。
- 小中学校の集団宿泊学習などに対する野外活動指導及び少年自然の家事業(指導者養成講座・野外活動振興事業)の充実を図る。
- 市民の緑化意識の高揚、植栽知識の普及などを図り、都市緑化を推進するとともに、自然に恵まれたレクリエーション活動の場を市民に提供するため、緑と花のフェスティバル事業を始め、グリーンピアコンサート・各種講習会・展示会などの充実を図る。

1 少年自然の家事業

[予算額 3,008千円(対前年度0.7%増)]

(1) 指導者養成講座

少年自然の家の教育目標を達成するためには、優れた指導者の養成が必要である。野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。

(2) 野外活動振興事業

少年自然の家及び東部丘陵の自然を活用し、幅広い年齢層の市民が四季を通じて自然を体感できる多様な野外・自然体験活動や環境学習の機会を提供する。

(3) 第14回緑と花のフェスティバル（自然の家会場）

開催日：4月29日（月・祝）～5月5日（日・祝）

丸太切り体験 ツリークライミング体験 他

(4) 受け入れ指導事業

小中学校の宿泊学習始め子ども会・スポーツ少年団など各種利用団体に、計画の立て方や野外炊事及びクラフトなどの実技並びに自然観察などの野外活動に関する指導を行う。

(5) 機関紙の発行

少年自然の家の活動状況、事業のPR及び自然観察の楽しみ方などを掲載し、各施設に配布して広く市民に周知する。

① 自然の家だより：1月、A4判、4ページ

② 情報誌やまもも：5月、7月、11月、2月A4判、2ページ

(6) 夏休み野外活動補助事業

夏季期間中の利用団体などに対する野外活動の指導、助言などを行う。

期間：7月20日（土）～8月31日（土）

2 少年自然の家小工事

〔予算額 7,000千円（対前年度比92.0%減）〕

設備の老朽化に対応し安全安心で快適な環境整備を進めるため、ターザンロープを更新する。

3 少年自然の家管理

〔予算額 58,026千円（対前年度比1.5%減）〕

(1) 施設維持管理業務

施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。

(2) 集団宿泊生活及び野外活動の指導

小中学校の宿泊、野外学習の指導を行う。

4 細野キャンプ場管理

[予算額 8,028千円 (対前年度比98.8%増)]

- (1) 施設維持管理業務
施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。
- (2) 細野キャンプ場廃止
細野キャンプ場利用者の減少に伴い、キャンプ場機能を少年自然の家
に集約するため、東屋等の撤去工事を行う。

5 都市緑化植物園事業

[予算額 3,837千円 (対前年度比1.5%減)]

- (1) 第14回緑と花のフェスティバル (植物園会場)
開催日：4月29日 (月・祝)～5月5日 (日・祝)
万葉苑草花めぐり、写生コンクール 他
- (2) グリーンピアコンサート
 - ① 主催コンサート
緑と花の休憩所植替えイベント時に開催
 - ② 共催コンサート
市内で活動している団体、グループ、個人の申し出者により開催
主にコーラスやギター、オカリナ、キーボード等のコンサート
- (3) 植物園講習会・各種教室
教室、講習会、子ども動物飼育体験
- (4) 都市緑化植物園内樹木等管理
灌水、園内樹木・草花管理業務 サイクルポート貸出業務 他

6 都市緑化植物園小工事

[予算額12,200千円 (対前年度比59.5%減)]

来園者が安心安全な環境で楽しんでもらえるよう、老朽化対策として、電気設備高圧ケーブル改修工事などを行う。

《主な工事等》

- (1) 電気設備高圧ケーブル改修工事
- (2) 散水スプリンクラー用バルブ設置工事

7 都市緑化植物園管理

[予算額94,217千円 (対前年度比2.2%増)]

- (1) 園内維持管理

都市緑化植物園内施設の維持管理を図り、市民に安心安全な環境のもと憩いと潤いのある場を提供する。

(2) 動物ふれあい広場運営管理

市民の動物愛護精神を涵養し、命の大切さを学んでもらうよう、施設運営を行う。

(3) 緑の相談

植物園内「緑の相談所」に相談員を配置し、病虫害の防除、施肥、庭木の剪定方法など植物全般に関する市民からの相談業務と出前診断を行う。

(4) 植物園展示会

春季バラ展、山野草展、クレイクラフト展 他